



よりよくなるように

副校長 棗 まゆみ

コロナ禍3年目。高井戸小学校では、今年度も体育的行事として「スポーツフェスティバル」を計画し、実施に向け取り組んできました。子供たちの成長にとってよりよい方法は何か、昨年度より、よりよくなるように何ができるのかを、教職員一同、知恵を出し合い、考えて進めてきました。

新型コロナウイルス感染症感染者数の減少が日々報道されると同時に、気温が高い日も徐々に増えています。気温が高い日には熱中症のリスクも高くなります。学校では、児童の安全を第一に考え、練習時には熱中症指数計を活用したり、場合によってはマスクを外させたりして指導を行ってきました。当日も感染症防止対策と熱中症対策を取りながら、よりよい形で保護者の皆様に子供たちの頑張る姿を見ていただけることを願っています。

今年も、子供たちの表現等を他学年保護者や地域の皆様にご覧いただくことはできません。そこで、各学年の練習の様子をお伝えしたいと思います。

1年生は、「あいうえおんがく」という曲にのって、リズムよく、明るく、元気に踊っています。体を伸ばすときと止めるときのメリハリをつけて踊れるように一生懸命練習に取り組んでいました。

2年生は、表現も競技もボールを使います。めあては「心をつつにして頑張ろう」です。友達のこと

も考えてボールを投げることができるように頑張っていました。

3年生は各クラスのダンスリーダーが、クラスオリジナルダンスを考えました。お互いに見合ったり、よいところを伝え合ったりして、3年生全員のダンスがよりよくなるように頑張りました。

4年生は、「One 4 all all 4 one」の題名通り、気持ちをそろえて表現することを考えてながら練習に取り組みました。競技のグループ分けも、話し合いをして、自分たちで考えました。

5年生は、表現も競技も各実行委員が中心となり、進めました。振付を考えたり、審判をしたりと子供たち自身が、よりよい活動になるように考えて、取り組みました。

6年生は、最高学年として、下級生や保護者の方々に団結した姿を見てもらいたいとソーラン節の練習を頑張りました。衣装を自分で作成したり、オリジナルの表現を盛り込んだり。よりよい姿を追求していました。

今よりも少しでもよりよくなるように考え行動できる子供たちは、すてきです。スポーツフェスティバルという行事を通して、頑張り、成長し続ける子供たちを、御家庭でも、ぜひ、認め、励ましてください。

6月生活目標 「校内のきまりを覚えよう」

生活指導部 吉住和見

学校には、たくさんのきまりがあります。休み時間や教室移動中の廊下の歩行、オープンスペースでの過ごし方などもその1つです。「廊下は歩く」どうしてか子供たちはよく分かっています。でも、「つい走ってしまう」そうです。自分だけでなく、周りの友達も「安心・安全」に過ごせるようどうしたらいいか、自分自身でよく考えて、行動する「考動」ができるよう、声掛けを繰り返し行っています。一人一人が危険予測・危険回避能力を身に付け、集団生活の中で他社意識をもち、どの子も「安心・安全」に生活できるよう、子供たちと一緒に考えていきます。

また、気温や湿度が高くなる中、汗拭きタオルやハンカチの携帯、水分補給の仕方など、健康な生活に必要なことについて考えています。ぜひ御家庭でも子供たちへの声掛けなどご協力をお願いいたします。